



かかばやく子ども

～自立と共生の礎を培い、今と未来を豊かで創造的に生きる子どもを育てる学校～

2学期がはじまり、早3週間が経ちました。1学期末ほどの暑さではありませんが、天候が不順で、生活のリズムを崩してしまうことを心配しています。そんな中、子どもたちは運動会の練習に励んでいます。走ったり、バトンパスをしたり、ダンスをしたり、応援練習をしたりと、努力している姿がたくさん見られます。

さて、過日の台風21号では、テレビの映像や新聞の報道で、たくさんの爪痕を残したことを知りました。本校でも、あまりにも風が強かったので植樹されていた木が傾いてしまいました。保護者(地域)の皆様のご自宅やご親戚宅の被害は、いかがだったでしょうか。自動車・トラックが横転する風、家の屋根や着板が壊れる風、歩くことができず自動車を運転していても物が凶器となって飛んでくる風、まさに「暴風」の怖さを感じました。さらに北海道で発生した地震では、かけがえのない命が奪われ、家屋が壊れ、地形まで変えてしまう「自然」の怖さに、なす術がない人間の無力感さえ感じてしまいました。「自然災害」と「防災・減災」については、学校でも指導はしますが、ご家庭におかれましても、繰り返し話し合ってくださいませようよろしくお願いします。

4年生「**やまのこ**」、そして5年生「**びわ湖フローティングスクール**」**うみのこ**【学習船】へ

子どもたちに、自分が住んでいる都道府県の特徴(「よさ」は何か?)を質問したとしましょう。北海道に住む小学生は北海道の「よさ」を、沖縄県に住む小学生は沖縄県の「よさ」を話してくれるでしょう。では、滋賀県に住む小学生は、滋賀県の「よさ」をどのように話すでしょうか。たくさんの「よさ」を考える中で、地理的な視点では、「滋賀県には、琵琶湖がある。」とか「滋賀県は、山に囲まれている地形がある。」と話すことが想像できます。4年生は、滋賀県から森林環境学習「**やまのこ**」を実施するということで補助金をいただき、東近江市「河辺いきものの森」へ行きました。



森林や池・川での生き物探し

竹箸づくり

子どもたちは、森林の大切さのお話を聞き、鳥のさえずりや風の音・臭い等、五感を通して学びました。トンボ・バッタ・カマキリ・カタツムリなどを見つけ、触ることができました。また、竹をカッターナイフで削りながら、自分で箸をつくることができました。森林環境学習「**やまのこ**」事業を通して、山・森林を実感し、環境を守り育てていくことの大切さを学んだことだと思います。きっと今まで以上に、山に囲まれている滋賀県のよさを、語れる子になったのではないかと思います。5年生になれば、「びわ湖フローティングスクール」で、「**うみのこ**【学習船】」に乗船します。日本一広い「琵琶湖」を実感し、もっと滋賀県のよさを学ぶことにつながってほしいと思います。

ゲストティーチャー・サポーターのみなさん、ありがとうございます。

【5年生】稲刈り

地域の方のご厚意で田んぼをお借りし、老上西農業合校【代表：宇野四郎さん】と保護者のみなさま方にサポーターになっていただき、5月に田植えをした苗を、稲刈りすることができました。たくさんのお稲穂ができて重くなってきたところに台風が来たので、少しだけ傾いていましたが、稲刈り体験は順調に進みました。稲を刈る機械【コンバイン】や乾燥機を使わず、鎌で刈り「はさがけ」で天気干しするという昔ながらの方法が故に、農業に携わっている人の思いを少しだけ学ぶことができたようです。収穫祭を計画し、調理して食べる予定です。ゲストティーチャー・サポーターのみなさん、ありがとうございました。



- ★稲と土のにおいを、体感することができた。
- ★稲刈り用の鎌を使い、稲の刈り方のコツと刈る時の音を体感できた。
- ★稲刈りをする時は、なぜ長袖の服を着る方がよいのかが、作業を通して理解できた。
- ★田植えの時には、3～4本の苗しか植えていないはずなのに、稲の本数が増え（本結）ていた。

【2年生】大根の種まき

2年生は、老上西農業合校と保護者のみなさま方にサポートしていただき、学級園と植木鉢に大根の種をまくことができました。子どもたちは、大根を見たり食べたりした経験はあると思いますが、種まきを通して大根の種の色や形そして大きさが理解できたと思います。牛乳パック等を使



つて土を盛った植木鉢に3粒、学級園に3粒まき、土と籾殻で覆いかぶせて数日後の発芽を待つこととなりました。その後、発芽した3つの中で、一番よい成長のものだけを残り他を抜くという「間引き」も学ぶこととなります。「小さな種」から「大きな大根」へと成長する過程を観察しながら、収穫の喜びと調理する楽しさを味わわせたいと思います。

【3年生】スーパーの見学

社会科の学習で、スーパーマーケットへ見学に出かけ、店で働く人の思いや願いを聞いたり、店の工夫を見つけたりする学習があります。3年生は、保護者（20名）の引率サポーターをお願いして、イオンモール草津店へ見学に出かけました。（快く受け入れていただいた「イオンモール草津店」に、心より感謝申し上げます）



《引率サポーターのみなさん》

- ★店だけでなく、店の裏でもたくさんの方が働いている。
 - ★品物の場所がほぼわかる看板が、つりさがっている。
 - ★品物は種類ごとにきれいにならべ、ほとんどにバーコードがついている。
 - ★カートで買い物ができるように、通路は広くなっている。買い物かごやカートが、かためてある。
- サポーターのみなさま方が、道中の交通安全や店内見学時の見回りなどをしていただいたおかげで、社会科学習を深め確かなものにすることができました。書中ではありますが、心よりお礼申し上げます。今後ともご支援をいただきますよう、併せてよろしくお願ひします。